

令和4年 郡山市議会 3月定例会報告

VOL. 25



郡山市議会

しんせいかい

新政会だより

3月定例会の概要

郡山市議会3月定例会は、新型コロナウイルス感染症の第6派が猛威を振るい、新規陽性者が1日あたり100人を超える厳しい日が続く、まん延防止等重点措置適用中の2月17日に開会し3月17日までの29日間にわたり開催されました。定例会初日に市長から、2月16日現在で1月以降の新規感染者数は2,419人となり、自宅療養者は、去年のピーク時の約4倍と増加している。度重なる感染の波が到来する中、感染拡大防止に取り組まれている皆様に感謝の意を述べられました。

予算の概要は、令和4年度補正予算第1号・第2号を含めた一般会計予算の規模は1,313億9,544万8千円となっております。特別会計の総予算額は1,025億4,970万3千円となっており、一般・特別両会計の予算総額は2,339億4,515万1千円となりました。また、国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に係る補正予算等の対応のための令和3年度ほか令和4年度補正予算の議員提案の意見書、条例議案等が上程され原案通り可決するとともに、「ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議案」を全会一致で可決しました。なお、最終日に提出されました人事案件に同意しました。



市道大町大槻線の650m区間。

令和4年2月には、県道郡山湖南線のルートを新たに整備した市道部へ切り替えしたところであり、早期完成に向け整備を進めております。

発行日 令和4年3月31日
発行責任者 廣田 耕一
住所 郡山市朝日1丁目23-7
電話 024-924-2507
FAX 024-924-0141

令和4年度予算編成の考え方

本市の令和4年度予算は、変異株による波が途切れない感染症対策はじめ、ポストコロナ社会対策を前提とした社会経済活動の活性化を念頭に「郡山市まちづくり基本指針」の基本方針を実現する予算と位置付け、特に「気候変動・地球温暖化対策」「DX推

進」などについてバックキャスト思考により「誰一人取り残されない」SDGsの基本理念のもと、全ての市民の皆様の健やかな生活を守ることを目指した予算の編成になっております。

新政会／議員紹介(連絡先)

ご意見をお気軽にお寄せください

顧問(6期)
遠藤 敏郎

総務財政常任委員会
喜久田町前田沢字
中赤津105
☎・FAX
024-959-4651

会長(3期)
廣田 耕一

文教福祉常任委員会
郡山地方広域消防組合議員
日和田町字
南原2-111
☎・FAX
024-958-1101

副会長(3期)
石川 義和

総務財政常任委員会
郡山地方広域消防組合議員
台新2-4-11
☎・FAX
024-953-6062

幹事長(2期)
折笠 正

議会運営委員会
環境経済常任委員会
田村町下道渡字坂ノ下65
☎・FAX
024-955-3913

(3期)
栗原 晃

郡山市監査委員
建設水道常任委員会
亀田1-24-11
☎024-938-4151
FAX024-924-0141

(2期)
良田金次郎

議会運営委員会
環境経済常任委員会
湖南町赤津字南町4172
☎024-983-2914
FAX024-953-2088

(2期)
會田 一男

議会運営委員会
建設水道常任委員会
西田町木村字池ノ上18
☎・FAX
024-983-9957

(1期)
福田 文子

文教福祉常任委員会
郡山地方広域消防組合議員
広聴広報委員会
堂前町6-5
☎024-922-1313
FAX024-922-8312

代表質問(令和4年3月定例会)

廣田 耕一 議員

令和4年度市政運営について

問 市長は、令和4年度の市政運営について具体的にどのような考えで運営を行っていくのか。

答 本市は、令和4年度の市政執行方針を「DX推進型『新型コロナウイルス感染症対策』課題解決先進都市の創生」と定め、次の時代を担う若者、子どもたちが「多様性と調和」が図られた希望に満ちた未来を描けるよう、現在、見直し中の「郡山市まちづくり基本指針」のもと、まずは新型コロナウイルス感染症への徹底した対応を図り、本市独自の「中小企業等応援プロジェクト2020」により、ポストコロナを見据えた住民生活・企業経営の基盤構築を支えていく。また、DXの効用を生かしつつ、引き続き、市民や事業者の皆様がそれぞれの人生設計や経営方針を安心して思い描くことができる、「誰一人取り残されない」SDGsの基本理念実現を目指し、公民協奏(コンチェルト)により、一層、市民の皆様が自由闊達に活躍することができる郡山の創生に全力を尽くしていく。

パークゴルフ場の整備について

問 パークゴルフ場の整備にむけて、現時点における候

補地選定の状況と整備ロードマップについてどのように考えているのか。

答 コースに適した土地としては、既存の公園、河川敷などや緩斜面の活用など、また、必要面積としては、18ホールを整備する際には約12,000平方メートル以上のコース面積が望ましい等の諸規定があり、設置基準を満たす公有地としては、富久山町の平成記念こどもの森公園の西側に位置し、除染土の積込場として利用している土地が、現状で活用できる平地面積が14,000平方メートル程度見込まれることから、適地の一つと考えている。また、現時点における、ロードマップとしては、来年度当初予算を承認いただければ、地質や水源等の調査を行い、測量設計に入り、その後、令和5年度には、造成等の工事に着手したいと考えている。



【その他の質問】

- 令和4年度当初予算編成について
- 安全・安心なまちづくりについて

福田 文子 議員

成年後見制度の推進体制の強化について

問 本市は、成年後見制度の利用促進を図るため、申し立て人と家族との仲立ちを行い、選任した成年後見人と本人(被後見人)とのバックアップを行う中核機関を整備するとしているが、中核機関の体制と、具体的な機能を伺う。

答 中核機関の実施体制は、判断能力の低下に伴い発生する様々な課題へ対応するため、中核機関に社会福祉士などの有資格者を配置し、関係機関・団体等による地域連携ネットワークを構築する。また、中核機関は、制度周知や相談対応、人材育成等の機能を備える。4月以降の円滑な事業の実施に向け、業務委託を想定する社会福祉法人と協議を進めている。



認知症対策に関する周知及び啓発について

問 誰一人取り残されない社会の実現のために、介護や

福祉、認知症といった病気などに対する啓発が必要と考えるが、同じ思いを持った方への周知と若年世代への啓発についての見解を伺う。

答 本市では、認知症の方とその家族の不安や負担を軽減するため、地域住民、専門職等誰もが参加できる認知症カフェ「オレンジカフェ」を2015年度から開催している。2009年度からは、若年世代の小学校から大学、専門学校への啓発を図り、本年1月末までの受講者35,509人のうち、若年世代の方は全体の約19%の6,771人である。今後も認知症への理解を深めるため、各種講座の充実を図りたい。

【その他の質問】

- セーフコミュニティの更なる推進について
- 地域拠点としての公民館について
- 議員活動を通して感じた諸課題について
 - (1)郡山産農産物のブランド向上化について
 - (2)所有者不明土地の取り扱いについて

一般質問(令和4年3月定例会)

石川 義和 議員

社会経済活動の再生について

問 コロナ禍により疲弊した地域社会を本市はどう回復させるのか。そのためには、本格的に経済活動を再開し、コロナ禍から社会経済活動の再生が重要。その手立ては。

答 本市は、今までも「中小企業等応援プロジェクト」により資金繰り支援等の経済対策予算を投じてきた。本年は4つの施策を柱として16項目の事業等を計画、コロナ克服等の後押しをし、社会活動の再生に取り組んでいく。

コロナ禍による子どもたちへの影響について

問 新型コロナウイルス感染症により、子どもたちは、地

域の行事やともだちとの遊びも制限されてきた。これら遊びの機会を通して子どもたちは社会で生きる力を育んでいくことが重要。本市としてコロナ禍の現状を踏まえて、子どもたちの学びの保障等に今後どう取り組むのか。

答 コロナ禍によりやむを得ず登校できない児童生徒に対し、タブレットを活用しながら、今しかできない学びや体験の機会を失わず、充実した教育活動が展開できるよう取り組んでいく。

【その他の質問】

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- コロナ禍で打撃を受けた生活基盤等の立て直しについて
- 本市への移住促進について

3月定例会で可決された主な事業

(拡) 拡充事業 (新) 今回取り入れた新しい事業

危機管理予算

13億9,009万円
財源区分: 国10/10

(拡)

新型コロナウイルスワクチンの追加接種(3回目)を推進

～新型コロナウイルスワクチン接種事業～

2回目のワクチン接種が終了した方のうち、18歳以上の方を対象に、追加接種(3回目)を実施しています。また、ワクチン接種の対象年齢が引き下げられ、5歳から11歳の方も新たに接種の対象となるため、国の方針に従い、3月以降に接種を開始する予定です。

項目	概要	予算額
委託料等	ワクチン接種委託、コールセンター設置、ワクチン配送 など	12億1,018万円
負担金	予防接種健康被害給付費負担金	1億7,991万円

これまでの接種経過と今後の接種スケジュール

円滑な接種に向けて

令和3年3月

4月

6月

12月

令和4年1月

3月～(予定)

医療従事者
接種開始

高齢者
接種開始

一般(64歳以下)
接種開始

医療従事者
3回目

高齢者(65歳以上)
3回目

一般(18歳～64歳)3回目
小児(5～11歳)1・2回目

◆65歳以上の高齢者の方のうち、2回目接種を集団会場で接種した方には、3回目の接種日時と場所をあらかじめ通知し、予約なしで接種可能としています。

◆接種券を週ごとに順次発送し、接種予約の混雑緩和を図ります。

「誰一人取り残されない」SDGsの基本理念の実現

3,640万円
財源区分: 国38.5/100・県19.25/100等

(新)

成年後見制度利用促進のため総合窓口を設置

～成年後見制度利用支援事業～

- 認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由により判断能力が十分ではない方などに対する相談や見守り、成年後見制度の利用等において、家庭裁判所、弁護士会・司法書士会や地域包括支援センターなど関係機関の連携強化を図ります。
- 権利擁護支援の担い手としての市民後見人等の育成や活動支援強化など、権利擁護支援に係る取り組みを推進し、成年後見制度の利用促進を図ります。

中核機関
(総合窓口)
の主な業務

【広報】

【相談】

【利用促進】

【後見人支援】

セミナー開催や広報紙配布等による制度の周知・啓発

申立人の制度利用に関する相談対応、関係機関へのつなぎ

受任者調整(マッチング)支援、制度の申立手続き支援

成年後見人等からの相談対応、市民後見人の育成支援



「誰一人取り残されない」SDGsの基本理念の実現

56億1,157万円
財源区分: 補助国1/3等

(拡)

脱炭素社会の実現は循環型社会の構築から

～河内埋立処分場第4期埋立地拡張事業・富久山クリーンセンター長寿命化事業～

河内埋立処分場第4期埋立地拡張事業(令和2年度～令和4年度)

令和4年度予算(継続費) 28億7,999万円

◆第4期埋立地拡張工事(R2～R4年度)
第3期埋立地を拡張造成し第4期埋立地とします。
(埋立容量516,000m³) 12億2,601万円

◆第一污水处理施設大規模改修工事(R3～R4年度)
既存施設を活用し、機械・電気設備の改修、更新により延命化・高効率化を図ります。 16億2,140万円

◆工事監理・環境影響評価事後調査業務 3,258万円

循環型社会の構築のため、河内埋立処分場の拡張工事と富久山クリーンセンター資源リサイクル推進施設の長寿命化工事により、廃棄物の安定処理と再資源化の促進を図ります。

富久山クリーンセンター長寿命化事業(令和3年度～令和4年度)

令和4年度予算(継続費) 27億3,158万円

◆リサイクル推進施設基幹的設備改良工事
粗大ごみ処理施設及びリサイクルプラザの機械・電気設備の改修、更新により延命化・高効率化を図ります。 27億3,158万円

	令和3年度	令和4年度	計
設備改良工事	2億9,342万円	27億3,158万円	30億2,500万円

「気候変動・地球温暖化」を前提とした環境対策の推進

2億8,875万円
財源区分: 単独

(拡)

消防団活動の効率化・負担軽減等による消防団員の確保

～郡山市消防団管理費・消防団員福利厚生費の一部・消防力整備事業費～



(拡) 消防団員の年額・出動報酬の見直し等 1億2,959万円

気候変動による災害の大規模・複雑・頻発化する中、地域防災の要である消防団員の年額・出動報酬を見直します。

【消防団員年額報酬の見直し(円)】

階級	現在の額	見直し後の額
団員	35,500	36,500
副班長	36,500	37,500
班長	37,500	38,500

※左記以外の階級(分団長以上)の報酬は据え置き

【出動報酬の見直し(円)】

現在の額	見直し後の額
1回 3,000	1回(5時間未満) 4,000

※以後1時間超毎に1,000円加算 ※最大8,000円

消防団員の年額・出動報酬の見直し等の処遇改善や装備充実による負担軽減等を図り消防団員の確保と地域防災力の向上を進めます。

(拡) 災害出動時の自家用車事故への補償を新設 1,078万円

消防団員が職場や自宅等から自家用車により出動する際の自動車事故への補償へ対応するため新たな保険制度に加入します。

【イメージ図】

自宅・職場等 自家用車 車庫詰所 消防団車両 火災等現場

常任委員会報告

環境経済常任委員会

折笠 正、良田金次郎

当委員会所管のコロナ禍における米価下落対策については米生産農家の経営安定化に向けて、新型コロナウイルスの影響による業務用米等の需要低下・在庫過多による米価下落対策として米生産農家の経営安定化へ向け複合的・多角的な支援を行う。

■「水稻種子」購入代金の支援:1370万円 ●要件:令和4年産米生産を行う市内農業者等 ●補助額:1kgあたり種子基準単価の1/10以内 ●取組計画:種子購入農家約6000人 ●種子購入量:228,400kg

■大豆の大規模取組への転換推進:180万円 ●要件:水田に3ha以上の大豆を作付けし、かつ1ha以上の団地化栽培に取り組む市内農業者、団体等 ●補助金:10a当たり3,000円以内 ●取組計画:60ha

■輸出用米への取組拡大支援:41万円

なお当委員会の※PDCAサイクル事業の農業用施設事業(ため池等の整備)及び多面的機能支払交付金事業(農地保全等)による治水対策にかかる進捗確認をしました。

総務財政常任委員会

石川 義和、遠藤 敏郎

本委員会に付託されました議案に「パークゴルフ場の整備」が提案されました。ポストコロナ時代における健康人口の増大を図るためのスポーツとして、パークゴルフ場の整備に向けた調査設計が進められます。本件については、故佐藤文雄議員がお亡くなりになる直前まで取り組まれ、亡くなられた直後の平成27年6月定例会において、本請願が全会一致で採択されました。その意思は遠藤敏郎議員に引き継がれ、今後は令和6年度オープンに向け取り組みます。

その他議案については、原案通り可決するとともに、郡山総合体育館、開成山陸上競技場、開成山野球場等に民間資金等活用事業等を適用することに伴い、郡山体育施設条例の一部改正を承認しました。

また、請願「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出について」は採択となり、「選択的夫婦別姓制度についての議論を求める意見書を提出することを求める請願」については不採択となりました。

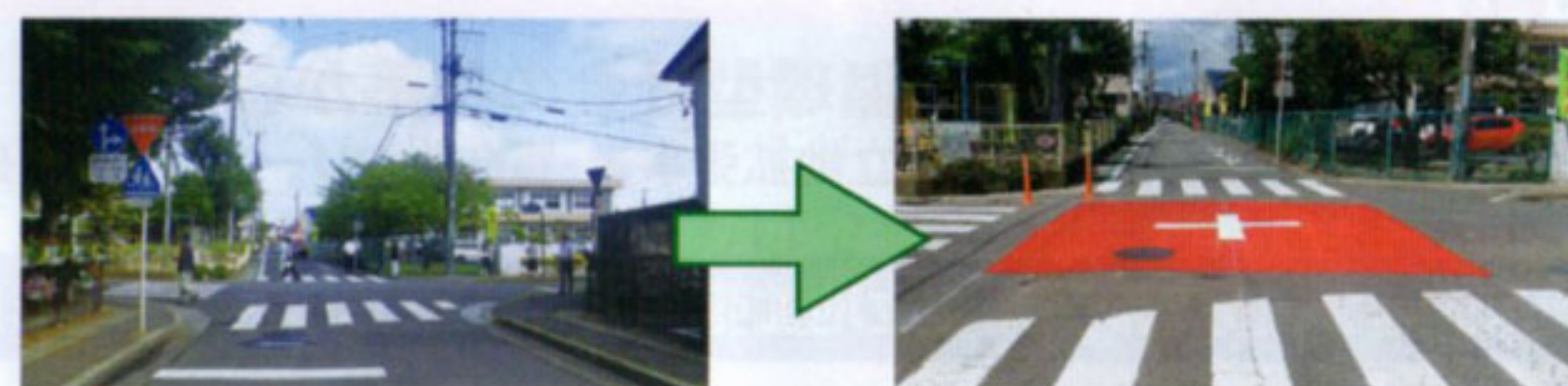
なお、当委員会が※PDCAサイクル事業に選定した「旧豊田貯水池利活用事業」並びに「(仮称)郡山市歴史情報・公文書館施設整備事業」は、その進捗状況の報告がありました。

建設水道常任委員会

會田 一男、栗原 晃

本委員会で※PDCAサイクル事業に選定した「通学路安全対策事業」の進捗確認を行いました。その概要は全国で通学路における悲惨な交通事故が発生している中、国から通学路における交通安全確保の徹底について通知されたことを受け、本市では、「郡山市通学路交通安全推進協議会」を設置し、通学路における危険箇所について関係機関及び関係団体による合同点検を実施しました。その対策として、歩道の整備や防護柵の設置、路面のカラー化等ハード面の対策のほか、児童生徒への交通安全指導の強化等のソフト面の対策にも取り組んでいます。

令和3年度の対策件数:23件(21校)



対策前

対策後

文教福祉常任委員会

福田 文子、廣田 耕一

当局から本委員会で提示された消費税(増収分)の使い道については①幼児教育・保育の無償化など「子ども・子育て」②所得の低い高齢者の介護保険料の軽減などの「介護」③医療④年金の4分野に全世代を対象とする社会保障の充実と安定のために使われ、令和4年度当初予算における社会保障財源分は約40億円となっています。

※PDCAサイクルとして事業選定した「公立保育所ICT化推奨事業」については児童の登降所データ管理や保護者へのお知らせ配信などを行うキッズダイアリシステムを全公立保育所25施設に導入完了。「小・中学校教育の情報化推進事業(統合型校務支援システム)」については教材研究や他の校務に係る時間が増えた、退勤時刻が早くなったとのアンケート結果が見られました。

請願「保険調剤薬局への無料低額診療事業」については不採択となりました。

※PDCAサイクル事業とは、事業進捗報告と評価

郡山市産米消費拡大に向けた特別委員会の開催

「郡山市産米消費拡大特別委員会」は先の12月定例会において、本市産米の消費拡大を目的に設置されました。1月25日には、第3回目の委員会を開催し、本市の取り組み状況や国民一人当たりの消費量の特徴等について認識を図り、第4回目の2月10日には、本委員会で今後審議する内容を検討しました。今後は月1回審議し、特別委員会としての提言を取りまとめる予定です。なお、委員に新政会からは、福田文子議員、栗原晃議員が選任されております。

編集後記

ロシアのウクライナ侵攻は情報化時代の今、どう取り繕っても大義名分は立ちません、即時停戦と撤退を求めます。

先日深夜の地震には驚かれたことと思います。被害に遭われた方にお見舞いを申し上げます。本市は震災・水害等度重なる災害に見舞われ、この事態に一刻も早い復旧、創生を進めることが我々の責務です。

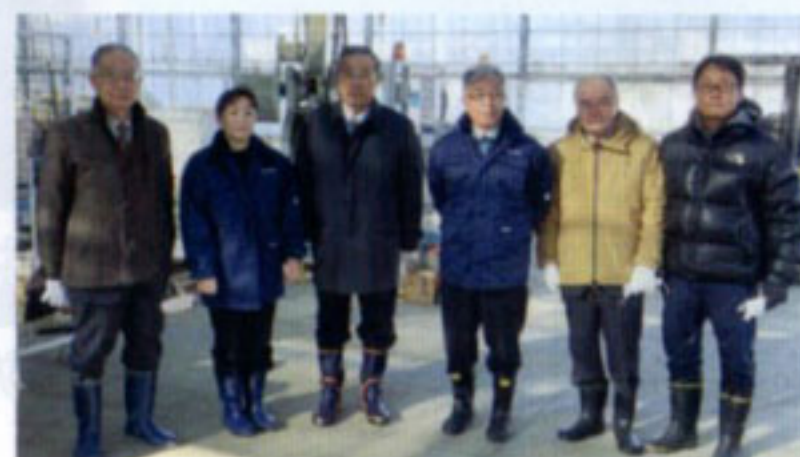
もうすぐ入学式、新入生の皆さん交通安全第一です。(會田)

学習会



令和3年産米までの取り組みの経過や令和4年産米以降の対応についてなどJA福島さくらの方々と意見交換をさせていただきました。

現地調査



水稻育苗用培土の製造販売など、農業経営をされている(有)みづほ郡山ライスセンターを訪問。これからの農業のあり方を考える機会をいただきました。

虚礼廃止について

公職選挙法により選挙中見舞など、時候の挨拶状が禁じられております。市民の皆様には、趣旨をご理解いただきご協力を賜りますようお願いいたします。



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキで印刷しています。